

新生徒会スタート

真鍋中学校は1月が新生徒会のスタートとなり、これからの1年間を2年生の2人がリードしていくことになります。始業式には2人の所信表明もありました。



まず会長の「今年は『更なる高み』を目指して活動していきたいと思います。」という言葉が印象に残りました。これまでの生徒会の取り組みについて自分たち自身が手応えを感じていることがわかります。そして「より良い学校・良い空気の学校にしていけるよう頑張りたい。」と抱負を述べました。副会長も「良い空気の学校を目指す事で自分たちの学校生活などが豊かになったり学校目標にもつながったりして、また新しい真鍋中学校になっていくと思います。」と語ってくれました。自分たちの生活を自分たちでより良いものに創り上げていくという「自治力」は生涯にわたって必要な力です。

期待の持てる頼もしいスタートでした。

1月31日に小中合同で給食集会を開きました。最初に給食を作って下さっている4人の先生方と一緒に給食を食べ、そのあとクイズやゲームをして楽しいひとときを過ごしました。



手作りのキーホルダーと手紙を渡しました

小中合同の行事は、いつも内容を見童生徒が相談して考え、進行もすべて協力してやってくれています。今年度は他にも合同遊びでサッカーやユニホックをしたり、歯と口の健康集会や読書集会では絵本の紹介やクイズをしてくれました。見童生徒の数が少ないため、参加者の半数以上が先生達おとなですが、どの行事も本当に和やかな雰囲気、楽しいひとときを過ごすことができます。今年度末で小学校が休校となり、この小中合同行事はなくなります。長年、行事を通じて後輩たちに模範を示し、その先輩たちの姿に憧れ成長し合ってきた、小中連携の取り組みが途絶えるのは残念ですが、そうして育ってきた最後の6年生たちが4月に入学し中学校で活躍してくれることを楽しみにしています。



合同遊びでユニホックを楽しみました



歯と口の健康集会でクイズを楽しみました



毎年、青少年健全育成協議会の活動としてプランターにチューリップなどの球根を植え、春になったら港に運んで皆さんに見てもらっています。今年度も12月の始めにみんなで協力して植えました。それから2ヶ月、寒風が吹き抜ける中、よく見ると緑色の芽が出ています。冷たい土の中でも春に向けて人知れず根を張り、春に向けて芽を伸ばす生命力の瑞々しさとたくましが生徒たちの姿にも重なります。



新型コロナウイルス変異株の感染拡大が笠岡市でも深刻化しています。学校でも一層の感染防止対策に努めたいと思います。ご家庭からのご協力も引き続きよろしくお願いいたします。

「春恋し 寒気(換気)気にする 頃なのか(コロナの禍)」

2月の主な行事予定 1日(火) 全校朝礼 2日(水) 合同委員会 4日(月) 給食費集金
9日(水) 2年復習テスト 9、10日(水、木) 県立特別入試 14日(月) 全校朝礼、合同遊び
16日(水) 参観授業、PTA役員決め 18日(金) 県立特別入試結果発表

真鍋中だより

眺海

令和4年
2月